

2013年9月30日締め2013年第3四半期の業績を発表

(このプレスリリースは、2013年10月24日に米国ボストン・サイエンティフィック社が発表したプレスリリースを翻訳したものです。)

ボストン・サイエンティフィック社(本社:マサチューセッツ州ネイティック、NY証券取引所略号:BSX)は、本日(2013年10月24日)、2013年9月30日締めの第3四半期の業績について、売上高が17億3,500万ドル、修正後1株当たり利益(EPS)が0.17ドルになったことを発表しました。GAAPベースでは、500万ドルの損失(1株当たり約0.00ドル)となりました。

2013年第3四半期の業績および直近の主要項目:

- 売上高は17億3,500万ドルとなり、調整後成長率は4%(売却事業および為替の変動による影響を除く)、リポータードベースでは前年比増減なしとなった。
- 修正後EPSは0.17ドルとなり、会社の修正後EPS指針の0.14ドルから0.16ドルまでのレンジの上限を上回った。
- MedSurg部門におけるグローバルベースの収益は市場を上回る成長を続け、為替変動の影響を除くと、ニューロモジュレーションで前年比32%増。エンドスコーピーで同8%、ウロロジー/ウーマンズヘルスでも同8%の増加となった。
- カーディアック・リズム・マネジメントおよびインターベンショナル・カーディオロジー事業の業績は向上し、為替変動の影響を除くと、CRMで1%増となった。ペリフェラル・インターベンション事業も業績は引き続き好調で為替変動の影響を除き7%増となった。
- ブラジル、ロシア、インド、中国の4カ国を合計した成長率は、為替変動の影響を除いて前年比で29%増加し、引き続きグローバル展開が進んだ。
- 中国において、ボストン・サイエンティフィック インスティテュート・フォー・アドバンシング・サイエンス(IAS)およびイノベーション・センターを開設し、アジア・パシフィックにおける継続的な取り組みを強化した。
- 既に公表されていた優先債権の公募を完了し、既発公債14億5,000万ドルの借り換えのためターム・ローン・ファシリティを締結した。
- 2014年組織再編プログラムを承認し、変化するグローバルな市場状況に対応するためビジネスモデルの変革プロセスを継続して展開した。本プログラムにより、2015年には年間で総額1億5,000万ドルから2億ドルの費用節減が期待される。

- オペレーティングキャッシュフローは2億5,000万ドルを計上し、うち7,500万ドルを使って既に承認済みの自社株買い戻しプログラムに基づいて約680万株を買い戻した。

「全体的に業績が好調であること、またダイナミックなヘルスケア環境において当社がグローバルに機運を掴んでいることは喜ばしいことです」とボストン・サイエンティフィック社の社長兼 CEO であるマイク・マホーニーは述べています。また「当社は、顧客とその患者さんに意義のあるイノベーションを提供する能力を強化しつつ、この四半期の業績を向上させました」とも述べています。

2013年第3四半期の全世界での売上:

| <i>in millions</i> | Three Months Ended September 30, | | % Change | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|-----------------|-------------------------|-------------------------------------|-------------------------------|------------|
| | 2013 | 2012 | As Reported Basis | Less: Impact of Foreign Currency | Constant Currency Basis | |
| Interventional Cardiology | \$ 472 | \$ 494 | -4% | \$ (13) | -2% | -2% |
| Peripheral Interventions | 195 | 189 | 3% | (8) | -4% | 7% |
| Cardiovascular | 667 | 683 | -2% | (21) | -3% | 1% |
| Cardiac Rhythm Management | 464 | 462 | 1% | (5) | 0% | 1% |
| Electrophysiology | 34 | 35 | -3% | (1) | -2% | -1% |
| Rhythm Management | 498 | 497 | 0% | (6) | -1% | 1% |
| Endoscopy | 322 | 310 | 4% | (11) | -4% | 8% |
| Urology/Women's Health | 131 | 125 | 5% | (4) | -3% | 8% |
| Neuromodulation | 115 | 88 | 32% | (1) | 0% | 32% |
| MedSurg | 568 | 523 | 9% | (16) | -3% | 12% |
| Subtotal Core Businesses | 1,733 | 1,703 | 2% | (43) | -2% | 4% |
| Divested Businesses | 2 | 32 | -95% | - | 0% | -95% |
| Worldwide Net Sales | \$ 1,735 | \$ 1,735 | 0% | \$ (43) | -2% | 2% |

成長率は四捨五入しない実数値であり、正確に再計算されていない場合があります。

売上成長率は、外国為替相場の変動による影響を除いたものであり、米国の GAAP (一般会計原則) に準拠して計算された数値ではありません。ボストン・サイエンティフィック社がこうした非 GAAP の数値を使用する理由につきましては、本プレスリリースに添付の別紙をご覧ください。

連結 GAAP ベースで 2013 年第 3 四半期の純損失は 500 万ドル(1 株当たり 0.00 ドル)となりました。この業績には、買収・訴訟・組織再編関連費用および償却・償還費用の 2 億 3,500 万ドル(税引き後、1 株当たり 0.17 ドル)を含みます。これらの費用を含まない 2013 年第 3 四半期の修正後純利益は 2 億 3,000 万ドル(1 株当たり 0.17 ドル)でした。

連結 GAAP ベースで 2012 年第 3 四半期の純損失は 6 億 6,400 万ドル(1 株当たり 0.48 ドル)でした。この業績には、営業権・その他の無形資産の減損費用、買収・売却関連の正味費用、組織再編・訴訟関連費用、個別税目および償却費用の 8 億 8,500 万ドル(1 株当たり 0.64 ドル)を含みます。これらの費用を含まない 2012 年第 3 四半期の修正後純利益は 2 億 2,100 万ドル(1 株当たり 0.16 ドル)でした。

2014 年組織再編プログラム

ボストン・サイエンティフィック社は、2014 年組織再編プログラムを発表します。本プログラムは、変化するグローバル市場において当社が成し遂げてきた進歩を基盤としており、業務の効果をさらに高め、新たな成長のための投資を支えるものです。プログラムの主要な活動には、展開中のプラント・ネットワーク最適化計画の継続的な実施、さらなる業務の効率化への注力の持続、既存事業や販売促進モデルの改革が含まれます。

本プログラムにより、2015 年には税引き前営業費用の年間総額を約 1 億 5,000 万ドルから 2 億ドル削減できると予想しています。また、節減分の一部を戦略的な成長イニシアチブへ再投資する予定です。

本プログラムの実施に伴い、社員の自然減と目標人数を定めた人員削減により、世界全体で合計 1,100 から 1,500 人の削減を見込んでいます。プログラムが実施されると、税引き前費用は総額で約 1 億 7,500 万ドルから 2 億 2,500 万ドルとなり、このうち約 1 億 6,000 万ドルから 2 億 1,000 万ドルが将来における現金支出になると予想されます。プログラムに基づく活動は、2013 年第 4 四半期に開始され、2015 年末までにほぼ完了する予定です。

2013 年第 4 四半期および通年の予測

ボストン・サイエンティフィック社は、2013 年第 4 四半期の売上高を 17 億 8,000 万ドルから 18 億 3,000 万ドルの範囲内だと予想しています。また GAAP ベースの 1 株当たり利益は、0.04 ドルから 0.08 ドルの範囲内と見込んでいます。買収・組織再編関連の費用、償却費用を含めない修正後利益は、1 株当たり 0.18 ドルから 0.20 ドルの範囲内と予想しています。

ボストン・サイエンティフィック社は、2013年の通年の売上高を70億8,500万ドルから71億3,500万ドルの範囲内だと予想しています。またGAAPベースの1株当たり損失は、0.13ドルから0.09ドルの間になる見込みです。営業権・無形資産の減損費用、買収・組織再編・訴訟関連の費用、売却関連の正味費用、償還費用および償却費用を含めない修正後利益は、1株当たり0.69ドルから0.71ドルの範囲内になると予想しています。

電話会議についての情報

ボストン・サイエンティフィック社の役員は、本日(10/24)午前8時00分(東部標準時)より、これらの業績に関してアナリストと電話会議を行う予定です。ボストン・サイエンティフィック社は、電話会議の様子をウェブサイトのIRのセクションwww.bostonscientific.comで配信します。アクセス方法の詳細についてはこのウェブサイトでご確認ください。この電話会議の様子は、ボストン・サイエンティフィック社のウェブサイトにて約1年間配信する予定です。

将来予測に関する記述についての注意事項

このプレスリリースには、証券法(1933年制定)第27A条および証券取引法(1934年制定)第21E条の意味するところの将来予測に関する記述が含まれています。「予期する」「期待する」「予想する」「信じる」「計画する」「推定する」「意図する」などの語句を用いた表現が将来予測の記述となりますが、これらの記述は現時点で得られた情報による確信、想定、推定に基づくものであり、将来の事象や実施を保証することを意図するものではありません。将来予測の記述には、純売上高、2013年度第4四半期および通年の修正後利益・GAAPベースの業績・修正業績についての予測、財務成績、事業計画およびビジネスモデルの変革、収益およびEPS成長率の位置づけ、コスト削減への取り組みおよび成長イニシアチブ、組織再編プログラム活動とその影響などに関する記述なども含まれます。基本的な前提が結果的に不正確であった場合、もしくは一定のリスクや不確実な要素が具体化するような場合には、将来予測に関する記述で明示または含意された見込みおよび予測と実際の結果が大幅に異なる可能性があります。これらのリスクや不確実な要素は、事業戦略の実施能力に対して実際に影響している場合や、将来的に実施能力に影響を及ぼす可能性があり、本プレスリリースの記載で予期した結果と実際の結果が大幅に異なる状況をもたらすことがあります。そのため、本プレスリリースの読者は将来予測に関する記述について全面的に依拠することを避けるよう注意してください。

このような相異をもたらすリスクや不確実な要素には、将来の経済、政治、競争入札、償還、法および規制の諸条件、新製品の導入、市場における新製品の受容、製品市場、市場価格、手続き量、臨床試験の結果、人口統計学的動向、知的所有権および関連その他の訴訟、金融市況、組織再編プログラムの実施とその効果、コスト削減の取り組みおよび成長イニシアチブを含めたビジネス戦略の実施と影響、ボストン・サイエンティフィック社および競合他社の将来的な経営上の意思決定などがあります。新たなリスクや不確実な要素が時として生ずる可能性があり、予想は困難です。これらの要因すべてを正確に予測することはほとんど不可能であり、また、多くは制御できません。ボストン・サイエンティフィック社の将来的な経営に影響する可能性のある要因ならびにその他の重大なリスクに関する概要および詳細な一覧については、証券取引委員会に提出した、最新の10-K年次報告書パートI 1A項目「危険因子」を参照してください。なお、この内容は、提出済みもしくは提出予定の10-Q四半期報告書パートII 1A項目「危険因子」で更新されることがあります。ボストン・サイエンティフィック社は、見込みの変更やその根拠となる事象、条件、状況の変化など、将来予測の記述に記載された内容と実際の結果が異なる可能性に影響を及ぼすような変化について、それらを反映するように将来予測に関する記述の

内容を公に更新または改訂する意思および義務を一切否認します。本注意事項は本プレスリリースに記載された将来予測に関するすべての記述に適用されます。

非 GAAP による財務情報の使用

ボストン・サイエンティフィック社の非 GAAP (一般会計原則) の数値を対応する GAAP の数値に調整したもの、およびボストン・サイエンティフィック社がこうした非 GAAP の数値を使用する理由につきましては、本プレスリリースに付属の別紙をご覧ください。

連絡先:

デニス・カイグラー
508-650-8330 (社内)
media@bsci.com
コーポレートコミュニケーションズ

ピーター・ルフト
508-650-8796 (社内)
media@bsci.com
グローバルメディア向け情報担当

マイケル・キャンベル
508-650-8023 (社内)
investor_relations@bsci.com
投資家向け情報担当

<ボストン・サイエンティフィックについて>

ボストン・サイエンティフィックは、世界中の患者さんの健康状態を改善するために、革新的な治療法を提供し、患者さんの人生をより多いものとするに全力で取り組んでいます。過去 30 年以上にわたり世界の医療テクノロジーをリードし続けるグローバル企業として、「we advance science for life」の言葉を胸に、画期的な治療法を通じて様々な疾患に苦しむ患者さんや、医療体制の生産性向上にも貢献しています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.bostonscientific.com>

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

プレスルーム (コーポレート・コミュニケーションズ)

TEL : 03-6853-6940, FAX : 03-6853-6950

E-mail でのお問合せはこちらへ (pressroom@bsjkk.co.jp)

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社